

## 「（仮称）のだ市民活動ふれあいフェスティバル 2026」の方針（素案）

「協働のまちづくり」や「地域共生社会」の実現に向けて、これまで同時開催してきた3つのイベントを一本化し、参加団体や来場者にとってわかりやすく、より活気に満ち、充実した内容とすべく、皆のアイデアを結集した実行委員会方式でフェスティバルを実施します。

また、事務局を一本化することで効率化を図り、福祉部、市民生活課、社会福祉協議会が本来の役割である参加団体のサポートに注力できる体制を整えます。

1. 目的：「協働のまちづくり」や「地域共生社会」の実現を目的とし、市民活動団体及び行政・関係機関が協働し、市民、団体同士の交流を通して、市民活動への参加のきっかけや活動の活性化を図る。
2. イベント名：参加団体の意向を踏まえ、実行委員会でイベント名を決定する。
3. 主催：（仮称）のだ市民活動ふれあいフェスティバル実行委員会
4. 実施体制：実行委員会、役員会、部会とする。事務局は野田市市民活動支援センターとする。  
※実行委員会設立までは、現フェスティバル代表者連絡会議を準備組織とする。
5. 参加団体：市民活動支援センターまたはボランティアセンターの登録団体、社会福祉関係団体
6. 日程・内容・会場等
  - ①日程：現時点での候補日は、令和8年11月22日（日）三連休のなか日
  - ②内容：「舞台発表」「実演・体験・展示」など、形態別の部会ごとに会場を割り振る。
    - ・飲食、物販、体験の実費徴収も可能とする。
    - ・スタンプラリーを実施する。
    - ・ポスター展も社会福祉協議会を中心とする部会を組織し実施する。
  - ③会場：総合福祉会館、中央公民館、時計の広場、通路、野田ガスホールロビー、保健センター前駐車場 ※中央子ども館とのコラボや、勤青ホームの活用も検討。
  - ④同日開催：福まち・じんけんシアター及びヒューマンフェスタも同日開催（野田ガスホール）
7. 予算：3イベント総額 536千円と同額を、令和8年度は市民生活課で管理する。  
ハートまつりの繰越金 131千円は、フェスティバル関連に支出する。
8. 広報
  - ・事前配布チラシ及び当日パンフレット、ポスターについて、SNSの活用等、集客効果の高い内容や時期・配布方法を検討する。
  - ・参加団体も自ら周知、広報を行うこととし、広報データを提供する。

## 10. スケジュール

令和8年	内容
1月	福祉部、社会福祉協議会と方針(素案)の協議
1月29日	○第60回市民活動支援センター運営協議会にて方針(案)を協議
2月	方針(案)を現フェスティバル代表者連絡会議で協議
3月	福祉部、社会福祉協議会と開催計画及び規約(案)の協議 開催計画及び規約(案)を現フェスティバル代表者連絡会議で協議
4月29日	○第61回市民活動支援センター運営協議会にて開催計画(案)を協議
5月	登録団体及び前回の参加団体への開催計画説明会の開催 参加団体募集(締切6月末日、希望所属部会、イベント名提案)
7月	第1回実行委員会の立ち上げ (開催計画・会長等の選任・イベント名・予算・役員会一任事項の決定、団体紹介) 第1回部会 (部会長等の選任)
7月29日	○第62回市民活動支援センター運営協議会に進捗状況報告
8月	役員会 (会場配置図、舞台発表等の順番、備品、スタンプラリー、案内チラシ(案)の協議) 第2回部会 (会場配置図等の協議、会場案内等の協議)
9月	役員会 (会場配置図、舞台発表等の順番、備品、スタンプラリー、案内チラシの決定、当日配布パンフレットの協議) 第3回部会 (会場配置図、舞台発表等の順番の決定、会場案内等の検討)
10月26日	○第63回市民活動支援センター運営協議会に開催内容報告
11月22日	★フェスティバル★(21日準備)
1月	第2回実行委員会(決算・監査、振り返り)
1月26日	○第64回市民活動支援センター運営協議会に開催結果報告

※必要に応じ役員会を開催する。